まちのわだい

あなたの周りで起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの身近な情報をお待ちしています。
▷問い合わせ　広報情報係
（☎２２３局３５６９）

TOWNS TOPICS

永年にわたり町政振興発展に貢献

11月2日　令和2年度芦屋町功労表彰式

令和２年度芦屋町功労表彰式が役場で行われました。芦屋町政治倫理審査会委員として貢献された岡本博志さん、芦屋町消防団員として貢献された本田 新さん、志垣拓哉さん、民生委員・児童委員として貢献された小徳 薫さん、高齢者の生きがいづくりや社会活動の促進に尽力された國﨑重太さんの５人です。

大きな声は出さなくても、心は熱く懸命に応援

10月24日　3小学校スポーツ大会

新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった、運動会・体育大会に代わるスポーツ大会が町内３小学校で行われました。感染予防のため静かな声援の中を精一杯の力を込めて参加していました。

法被（はっぴ）を着て踊る芦屋ソーランは、６年生に代々受け継がれる芦屋小学校の名物です。力強く、息の合った６年生の舞う姿を全児童をはじめ、来場者全員が真剣に見ていました。

体を使ったゲームは、とってもたのしいよ！

11月14日　ボッチャ・フライングディスク体験教室

コロナ禍のため、さまざまなスポーツ活動が中止になったり、子どもたちの行動範囲が制約されたりするなか、運動不足による体力低下を解消することを目指して、NPO法人スポネット・しろやまがボッチャ・フライングディスク体験講座を開催しました。参加したのは山鹿小学校の児童33人。４年生の木原真央さんは、「普段は同じ学年の友だちと遊ぶことが多いから、違う学年の子どもたちと遊べて楽しかったです」と話していました。

いつまでもお元気で

祝 100 歳おめでとう

井上シズ子さん

原田直子さん

満 100 歳を迎えた井上シズ子さん（中ノ浜）と原田直子さん（山鹿）に、波多野町長からお祝い状などが贈られました。

井上さんは飯塚市幸袋（こうぶくろ）で生まれ、昭和 21 年に芦屋に移り住みました。子育てをしながらボートレース芦屋の売店で長く働いていたそうです。とても好奇心旺盛で、思い立ったら即行動という性格とのこと。10 年ほど前までは小旅行を頻繁に企画して、近所の人を誘っていたそうです。長生きの秘訣は、「いろいろなことに興味を持ち、関わっていくこと」と話していました。

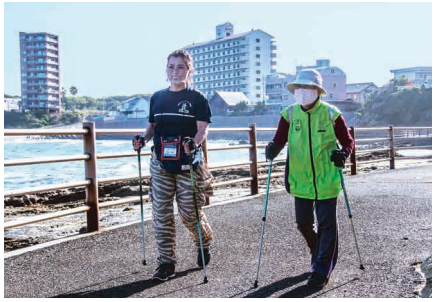
原田さんはアメリカのカリフォルニア州のいちご農園の家に生まれ、５歳の時に家族で日本に帰国。19 歳で結婚し、３人の子どもに恵まれました。手縫いの縫い目がミシン目に見えるほどの器用な手先で、多くの着物を縫ってきたそうで、今でも率先して繕（つくろ）い物をしたり、ひ孫のマフラーを編んだりしているとのことです。また、洋食が好きで一人前のステーキをぺろりと完食するそうで、それが長生きの秘訣だと教えてくれました。

顔よりも大きく、白い美しい花は何でしょうか

10 月 2 日　ドラゴンフルーツ

珍しいものを栽培しているという情報を得て、取材に行ってきました。それは、サボテン科の果実で夜になると美しい花を咲かせるドラゴンフルーツでした。同じサボテン科である月下美人のように、花は日没とともに開花し、一夜を過ぎると翌朝には枯れてしまいます。花が咲いているビニールハウスの中は、ほんのり甘い香りがしていました。栽培をしている萩原芳郎さん（山鹿）は、「苗から育ててゆき、今では立派に育ちました。市販のものよりも長く熟成させるので、甘みが強くておいしいですよ」と話していました。

澄んだ青空、気持ちのいい運動で爽快に！

11 月 8 日　ポールウォーキング講座

さわやかな秋空の下、夏井ヶ浜はまゆう公園から柏原海岸までの往復コースを、ポールで補助をしながら歩行するポールウォーキング講座が行われました。前回も参加したという前田ハナエさん（山鹿）は、「この講座に参加してから、姿勢と体調が良くなったと思います。みんなと一緒に運動するのは楽しいです」と話していました。